

## 2 安浦地区

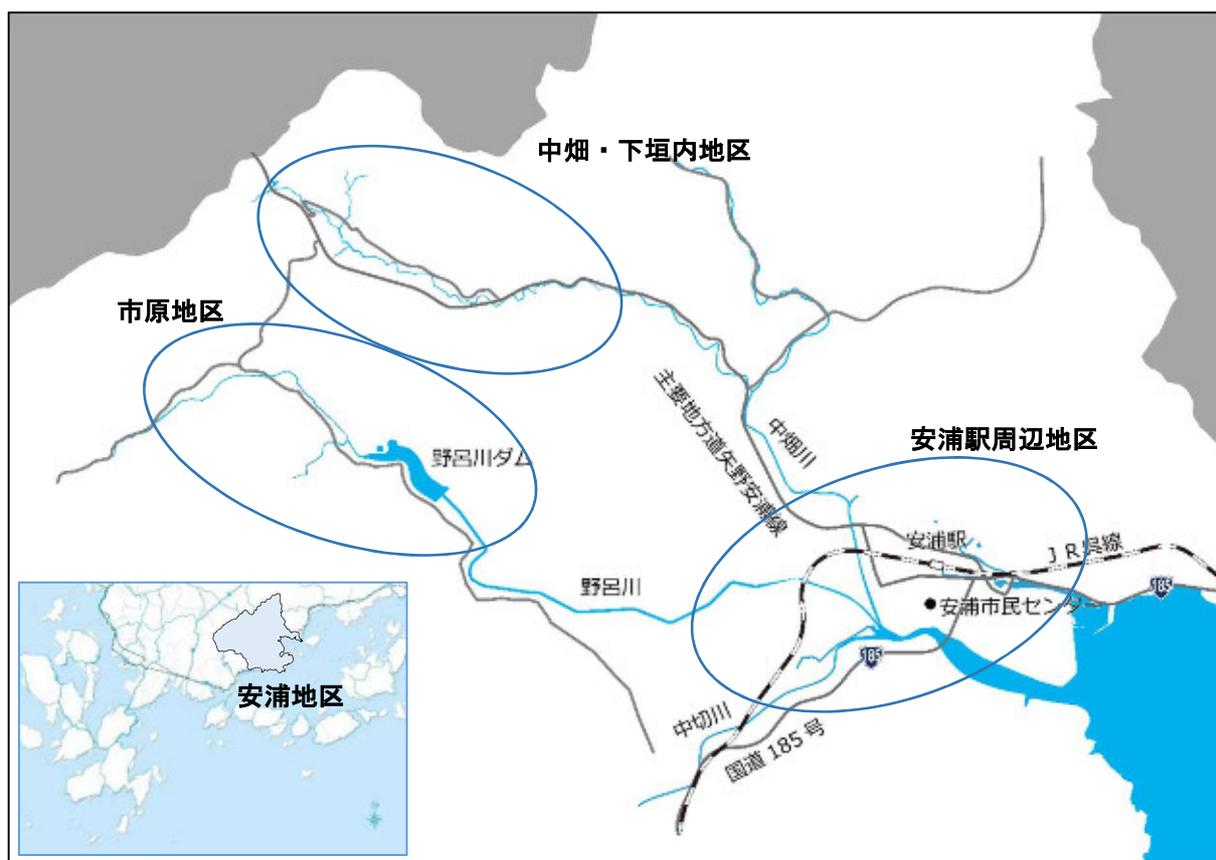
### 【安浦地区の概況】

安浦地区は、呉市の東部に位置し、東、西、北の三方を山に囲まれ、南側は瀬戸内海に面しており、総面積の約70パーセントが山林で、傾斜地が多く平地が少ないのが特徴です。地区内の主要幹線としてJR呉線に沿って国道185号が東西方向に横断し、また、東広島市へと至る主要地方道矢野安浦線が縦貫しています。

安浦駅の周辺は、小・中学校、市民センターなどの公共施設や商業施設が立地する地区で、駅の北側には平成24年度に土地区画整理事業によって整備された市街地が広がっています。

市原地区、中畑・下垣内地区は、地域のシンボルである野呂山の東側に位置し、盆地に整備された棚田により、農業を主とした集落を形成しています。

安浦地区内には、野呂山を水源とする野呂川（二級河川）、その支流である中畑川（二級河川）、中切川（二級河川）が貫流しており、市街地で3河川が合流し瀬戸内海に注いでいます。野呂川の上流部には、広島県が治水ダムとして昭和50年度に建設した野呂川ダムがあります。



### 【安浦地区の被害状況等】

安浦駅周辺地区では、中畑川、野呂川の氾濫により、約60ヘクタールに及ぶ広い範囲が浸水しました。また、市原地区、中畑・下垣内地区では、土石流が至るところで発生し、集落や田畑へ大量の土砂や流木が流れ込み、集落へ至る道路も寸断されました。

このため、安浦地区では建物の被害が989件（うち全壊71、大規模半壊45、半壊369、一部損壊345、床下浸水158、その他1）となっており、とりわけ半壊以上の被害では、市全体（1,222件）の約4割にも及ぶなど、被災者の住宅再建を始め、被災前の住み慣れた生活圏で引き続き安心した生活を取り戻すための取組を進めていく必要があります。

また、安浦地区では、道路や河川などの公共土木施設や、幹線道路やJRなどの交通基盤など、地域の生活や経済活動を支える多くの社会基盤が甚大な被害を受け、さらに、山間部の市原地区、中畑・下垣内地区では、農地なども土石流により埋塞しました。

このため、早期の機能回復を図るとともに、社会基盤の復旧にあわせた地区のまちづくりを地域住民と一緒に考えていく必要があります。

表－3 建物の被害の状況（令和元年9月1日時点）

被害区分	安浦地区 (A)	呉市全体 (B)	割合 (A/B)
全壊	71	324	21.9%
大規模半壊	45	133	33.8%
半壊	369	765	48.2%
<b>小計</b>	<b>485</b>	<b>1,222</b>	<b>39.7%</b>
一部損壊	345	1,257	27.4%
床下浸水	158	741	21.3%
その他	1	11	9.1%
<b>合計</b>	<b>989</b>	<b>3,231</b>	<b>30.6%</b>

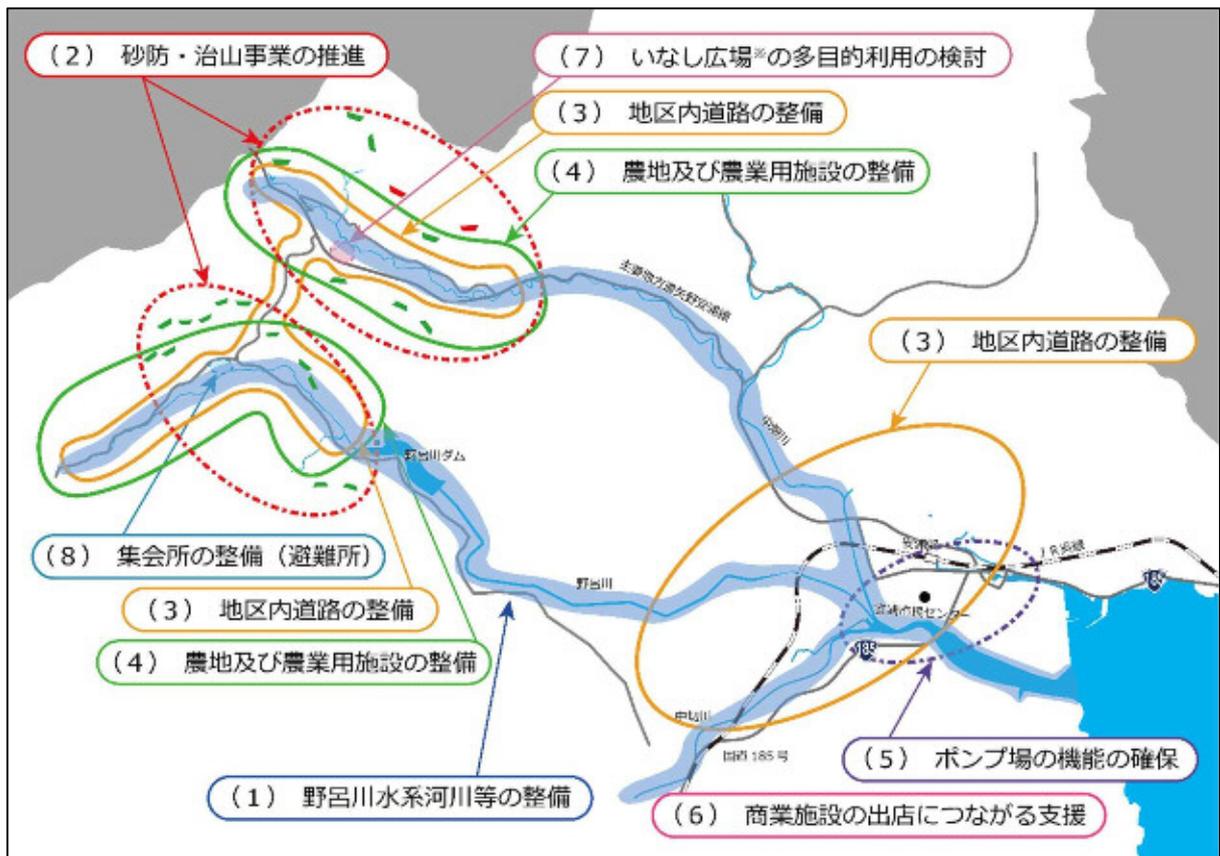
表－4 家屋等撤去の状況（令和元年8月27日時点）

区分	安浦地区 (A)	呉市全体 (B)	割合 (A/B)
家屋等撤去件数	103	411	25.1%

### 【地区計画の方向性】

今回の豪雨により、安浦地区の住民の暮らしや社会基盤等が大きな被害を受けましたが、今後も自然災害により、再び同じような被災を繰り返さないためにも、ハード・ソフトを含めた防災・減災に向けた取組を進めていくとともに、地区内人口の減少や、身近な商業施設の撤退等による地域活力の低下などの課題への対応が必要です。

このため、安浦地区の復旧・復興に向けた取組についての地域住民からの提案を参考に、被災する前以上に災害に強い幸せで魅力的なまちを目指し、今後、下図に掲げる取組について実施を検討し、復旧・復興に向けたまちづくりを進めていきます。



いちばら なかはた しもがうち  
※いなし広場：市原，中畑，下垣内の3地区の頭文字を取って名付けられた旧野路西小学校跡地の広場

## (1) 野呂川水系河川等の整備

### 取組の方向性

広島県が管理する二級河川の中畑川・野呂川の氾濫により、安浦駅前を中心とした約 60 ヘクタールに及ぶ広い範囲が浸水しました。地域住民からは、河川に流入した土砂の早期撤去、被災した護岸の早期復旧に加え、河川堤防の嵩上げや法尻補強<sup>のりじり</sup>、天端舗装<sup>てんぽ</sup>などの整備や野呂川水系の河川整備計画を策定し、計画に基づく抜本的な改修やダム・河川の情報伝達手段の充実を図ること、また、野呂川ダムについては、異常洪水時防災操作体制の強化を図ることが望まれています。

これらの要望に対して、これまで、広島県では野呂川ダムの異常洪水時防災操作体制について、大雨洪水警報時などの体制強化や県庁からのサポート体制の強化などを行いました。さらに、ダムの情報が下流域の住民に十分に伝わらなかったことが指摘されていることから、情報提供の内容・手段の充実を図ることとし、中畑川への水位計の設置や、防災行政無線による、野呂川ダムの放流に関する情報の住民への周知方法等について見直しを行いました。

引き続き、広島県に対して、河川堤防の整備及び当該河川整備計画の早期策定と改修工事の早期実施、野呂川水系への監視カメラの設置等を要望していくとともに、新たな情報伝達手段の検討などについて、広島県と連携して実施していきます。

### 実施事業

#### ➤ 野呂川水系河川の整備

野呂川水系の河川堤防の整備及び河川整備計画の早期策定と改修工事の早期実施を広島県に要望していきます。

#### ➤ ダム、河川情報の新たな伝達手段の検討

中畑川への水位計の設置や、ダムの放流に関する情報の住民への周知方法について見直しを行いました。引き続き、広島県へ監視カメラの設置等を要望するとともに、下流域の住民に対するダム、河川情報の新たな伝達手段の検討などについて、広島県と連携して実施していきます。

## 実施事業の工程表

事業名 (年度)	復旧期		復興期				
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
野呂川水系河川の整備		河川堤防の整備					
		河川整備計画の策定	整備工事の早期実施を県に要望				
ダム、河川情報の新たな伝達手段の検討		水位計の設置 周知方法の見直し					
		監視カメラの設置					
		新たな情報伝達手段の検討					

## 復興計画における施策体系

基本方針	施策
2 災害に強い安全・安心なまちづくり	2-1 土木施設等の強靱化
4 今後の防災・減災に向けた取組	4-1 防災・減災に向けた体制の強化



破堤した中畑川護岸の復旧状況（八千代橋付近）

## (2) 砂防・治山事業の推進

### 取組の方向性

今回の豪雨により大規模な土石流災害が発生した市原，中畑・下垣内地区では，地域住民が将来にわたって安全・安心に生活することができるよう，広島県に対して砂防・治山ダムの整備を要望していきます。

また，砂防・治山ダムの整備に伴う流末水路の整備については，広島県と調整を図りながら実施していきます。

さらに，砂防・治山ダムの整備効果が確実に発現できるよう，定期的な点検による構造物の健全度や土砂の堆積状況の確認を行うなど，適切な維持管理について広島県に要望していきます。

### 実施事業

#### ➤ 砂防・治山ダムの着実な整備の推進

災害後に採択された災害関連緊急砂防・治山事業等で整備される砂防・治山ダムの早期完成に向けて，今後も広島県に対して，着実な整備の推進を要望していきます。

また，砂防・治山ダムの整備計画がない溪流についても，追加整備を広島県に要望していきます。

#### ➤ 砂防・治山ダムの整備に伴う流末水路の整備

砂防・治山ダムの整備に伴う流末水路の整備については，広島県と調整を図りながら実施していきます。

#### ➤ 砂防・治山ダムの適切な維持管理

砂防・治山ダムの整備効果が確実に発現できるよう，定期的な点検による構造物の健全度や土砂の堆積状況の確認など，適切な維持管理について，広島県に要望していきます。

### 実施事業の工程表

事業名 (年度)	復旧期		復興期				
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
砂防・治山ダムの着実な整備の推進	緊急事業等による砂防・治山ダムの整備						
	新たな砂防・治山ダムの要望・整備						
砂防・治山ダムの整備に伴う流末水路の整備			流末水路の設計・工事等				
砂防・治山ダムの適切な維持管理	砂防・治山ダムの適切な維持管理						

## 復興計画における施策体系

基本方針	施策
2 災害に強い安全・安心なまちづくり	2-1 土木施設等の強靱化



広島市安佐北区高谷に整備された砂防ダム（平成28年3月竣工）

### (3) 地区内道路の整備

#### 取組の方向性

今回の豪雨により、安浦駅周辺地区では、河川の橋脚に流木等が引っ掛かり河川氾濫の原因の一つとなったことから、被災した橋りょうの架け替え時における橋脚を必要としない構造への見直しを求める声が上がっています。

また、市原地区、中畑・下垣内地区では、土石流により道路が寸断され、集落が一時孤立したことから、災害などの緊急時においても通行可能な道路の確保が求められています。

こうしたことから、架け替え時の橋りょう構造の見直しや、市道中畑下垣内線と主要地方道矢野安浦線とを結ぶ道路など、緊急時においても安全に通行が可能な道路の整備について検討していきます。

#### 実施事業

##### ➤ 架け替え時の橋りょう構造の見直し

北川橋（内海北3丁目）、浦尻上橋（内海南1丁目）等、被災した橋りょうについては、橋脚を必要としない構造での復旧工事を予定しています。また、被災していない橋りょうについても、今後、広島県が行う河川改修事業に合わせて、橋脚を必要としない構造での整備を検討していきます。

##### ➤ 市道中畑下垣内線と主要地方道矢野安浦線とを結ぶ道路の整備

市道中畑下垣内線と主要地方道矢野安浦線とを結ぶ道路は狭あいで、車の通行ができないことから、避難所としての活用を検討している「いなし広場」へ安全に避難することができる、矢野安浦線と地区とを直結する道路の整備を検討していきます。

##### ➤ 工事用道路の生活道路としての活用

現在、下垣内地区内の県道横道線（市道）は、幅員が狭く迂回路もないことから、緊急活動に支障を来しています。このため、中ヶ原川災害関連緊急砂防事業（砂防ダム整備）に伴い整備される工事用道路を生活道路や避難路として活用することについて、検討していきます。

##### ➤ 地区内道路の安全性の強化

自治会等が地区内道路へ防犯灯を設置する場合の支援や街路灯の新設、避難路となる狭あいな道路の部分拡幅など、地区内道路の安全性の強化に取り組んでいきます。

## 実施事業の工程表

事業名 (年度)	復旧期		復興期				
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
架け替え時の橋りょう構造の見直し		復旧工事	県の河川改修事業に合わせた橋りょうの架け替え				
市道中畑下垣内線と主要地方道矢野安浦線とを結ぶ道路の整備		検討	設計・工事等				
工事用道路の生活道路としての活用		工事用道路活用検討	設計・工事等				
地区内道路の安全性の強化		検討	状況に応じた対策の実施				

## 復興計画における施策体系

基本方針	施策
2 災害に強い安全・安心なまちづくり	2-1 土木施設等の強靱化

## (4) 農地及び農業用施設の整備

### 取組の方向性

市原地区、中畑・下垣内地区では、土石流が至るところで発生し、集落や田畑へ大量の土砂や流木が流れ込みました。このため、農地だけではなく、農道や水路等の農業用施設にも被害が広範囲に及んでおり、地域住民からは農地に流入した土砂の早期撤去や農業用施設の早期復旧が求められているとともに、砂防・治山ダム整備等の事業との調整を図る必要がある箇所については、復旧・整備の遅れが懸念されています。

地域産業である農業を将来にわたって維持していくため、生産効率の向上に向けた、ほ場整備などの手法を取り入れた農地の整形化や統合、農地の復旧に合わせた農道の整備などについて、地域住民と話し合いを進めながら取り組んでいきます。

### 実施事業

#### ➤ 農地及び農業用施設の早期復旧

引き続き、農地に流入した土砂の早期撤去と、被災した農業用施設の早期復旧を進めていきます。

#### ➤ 農地及び農業用施設の整備

ほ場整備などの手法を取り入れた農地の整形化や統合、農地の復旧に合わせた農道の整備などについて、地域住民と話し合いを進めながら取り組んでいきます。

### 実施事業の工程表

事業名 (年度)	復旧期			復興期			
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
農地及び農業用施設の早期復旧		復旧工事					
農地及び農業用施設の整備		計画策定	ほ場整備等				

### 復興計画における施策体系

基本方針	施策
2 災害に強い安全・安心なまちづくり	2-1 土木施設等の強靱化
3 産業・経済の復興	3-1 地域産業の復旧・復興

## (5) ポンプ場の機能の確保

### 取組の方向性

安浦駅周辺地区では、中畑川、野呂川の氾濫により、約60ヘクタールに及ぶ広い範囲が浸水し、多くの住家で床上浸水などの建物被害が生じたほか、月見公園ポンプ場では、ポンプ、操作盤等が水没し、その機能が停止しました。

今回の氾濫は河川のいっ水・越水及び破堤による外水氾濫<sup>\*</sup>であり、内水氾濫<sup>\*</sup>ではないため、抜本的な対策としては河川の早期整備が必要ですが、災害時にも稼働できるよう、ポンプ場の機能を確保するための対策を講じており、今後も適切な維持管理を実施していきます。

### 実施事業

#### ▶ ポンプ場の機能の確保

被災した月見公園ポンプ場の浸水対策として防水壁を整備するとともに、ポンプの稼働状況が確認できる回転灯や、遊水池に流入したごみを撤去するための歩廊を設置しました。

今後も、適切な維持管理を実施していきます。

### 実施事業の工程表

事業名 (年度)	復興期						
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
ポンプ場の機能の確保	対策工事		適切な維持管理				

### 復興計画における施策体系

基本方針	施策
2 災害に強い安全・安心なまちづくり	2-3 上下水道施設の強靱化

<sup>\*</sup>外水氾濫：河川の堤防から水があふれ又は破堤して家屋や田畑が浸水すること

<sup>\*</sup>内水氾濫：堤防から水があふれなくても、河川へ排水する川や下水路の排水能力の不足などが原因で、降った雨を排水処理できなくて引き起こされる氾濫

(国土交通省ホームページ用語解説より)

## (6) 商業施設の出店につながる支援

### 取組の方向性

安浦駅前には、地域住民が日常的に利用できる商業施設（スーパーマーケット）が立地していましたが、今回の豪雨により店舗が浸水被害等を受けて閉店し、現在もなお、新たな商業施設の出店が見込めない状況となっています。

こうしたことから、引き続き地域と協力して民間事業者へ移動販売等の実施を働き掛けるとともに、地区内への商業施設の出店につながるよう、情報提供等の支援に取り組んでいきます。

### 実施事業

#### ➤ 商業施設の出店につながる支援

安浦地区における活力や利便性の向上に向け、来てくれ店舗公募事業や起業家支援プロジェクトなどの各種商業振興策を通じて、商業施設の出店につながるような支援を行っていきます。

### 実施事業の工程表

事業名 (年度)	復旧期		復興期					
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
商業施設の出店につながる支援			既存の商業支援事業を活用した出店につながる支援					

### 復興計画における施策体系

基本方針	施策
3 産業・経済の復興	3-1 地域産業の復旧・復興

## (7) いなし広場の多目的利用の検討

### 取組の方向性

今回の豪雨時において避難勧告等が発令された際、中畑・下垣内地区の住民の大半は自宅待機（自宅避難）の状態、指定避難所に避難した住民は少数でした。

この要因として、土砂災害に適応する避難所が遠距離にあることや土砂崩れによる避難路の寸断など、避難経路が危険な状態で、避難所までの移動が非常に困難であったことが挙げられています。

今後、こうした事態を回避するためには、日常的に地域の拠点として親しまれ、緊急時に誰もが安心して避難できる場づくりが必要です。

こうした中、市原・中畑・下垣内地区の3地区では、「緑の里いなし」として運営協議会を組織し、「呉市公共施設等里親制度」を活用して、美化活動などを展開しながら小学校跡地である「いなし広場」の維持管理を行っているところです。

これまでの、こうした地域の取組などから、この「いなし広場」について、平常時には地域資源を活用する施設や今回の災害の記憶を継承する場として、また、災害時には避難所として活用するなど、多目的に活用できる施設の整備について、地域住民とともに検討を進めていきます。

### 実施事業

#### ▶ いなし広場の多目的利用の検討

地域資源を活用したにぎわいの創出に向けた取組や、災害時における避難所としての活用など、地域と呉市で「いなし広場」の多目的利用に関する検討を行っていきます。

### 実施事業の工程表

事業名 (年度)	復旧期			復興期			
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
いなし広場の多目的利用の検討		検討		施設整備			

### 復興計画における施策体系

基本方針	施策
3 産業・経済の復興	3-1 地域産業の復旧・復興
4 今後の防災・減災に向けた取組	4-1 防災・減災に向けた体制の強化

## (8) 集会所の整備（避難所）

### 取組の方向性

地域避難所に指定されている市原集会所は、今回の豪雨で氾濫した野呂川に隣接した場所に立地していることから、地域住民からは、地域の中央部にある三叉路付近の利便性が高い安全な場所への移転を望まれています。

こうしたことから、地域が行う避難所としての使用が可能な施設の整備に対して、既存制度である自治会集会所新築等補助金により、費用の一部を補助するなどの支援を行っていきます。

### 実施事業

#### ➤ 集会所整備支援

地域が行う集会所の整備に対して、自治会集会所新築等補助金により、費用の一部を補助するなどの支援を行っていきます。

### 実施事業の工程表

事業名 (年度)	復旧期		復興期				
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
集会所整備支援			整備支援				

### 復興計画における施策体系

基本方針	施策
4 今後の防災・減災に向けた取組	4-1 防災・減災に向けた体制の強化

【復興計画における施策体系による整理】

基本方針	施策	取組
2 災害に強い安全・ 安心なまちづくり	2-1 土木施設等の強靱化	(1) 野呂川水系河川等の整備
		(2) 砂防・治山事業の推進
		(3) 地区内道路の整備
		(4) 農地及び農業用施設の整備
	2-3 上下水道施設の強靱化	(5) ポンプ場の機能の確保
3 産業・経済の復興	3-1 地域産業の復旧・復興	(4) 農地及び農業用施設の整備【再掲】
		(6) 商業施設の出店につながる支援
		(7) いなし広場の多目的利用の検討
4 今後の防災・減災 に向けた取組	4-1 防災・減災に向けた体制 の強化	(1) 野呂川水系河川等の整備【再掲】
		(7) いなし広場の多目的利用の検討【再掲】
		(8) 集会所の整備(避難所)